

学び続ける 2019

6月に入り、梅雨入りも間近となりました。先週金曜日に行われた授業参観、PTA 総会、学校説明会にはお忙しい中、多数の保護者の皆様に来校いただきありがとうございました。

学校説明会でも申し上げましたが、本校の令和元年度の「重点研究」(=特に力を入れて授業づくり等を学んでいく)は算数です。子どもたちの学び合いの場面をできるだけ設定し、その中でコミュニケーション能力を伸ばしながら、自己の考えを、形成したり修正したりしながら、深めていくことを目指していきます。そのために、外部から講師の先生をお呼びして、校内で授業を互いに見合い研究会を通してよりよい授業づくりに取り組んでいます。これは子どもたちの「わかった」「できた」という学ぶ喜びを引き出す**(学力向上・授業力の向上)**とともに、学び合いの中で互いを尊重する心情や態度を育てる**(豊かな心の育成)**ことにもつながります。また先輩教諭と後輩教諭が一つの授業を通して議論する**(人材育成)**ことで教員相互が学ぶこととなり、**学校教育目標の「ひびきあい、ささえあい、たかめあい」の実践**でもあります。

授業をつくっていくうえで、子どもたちの実態をつかみ、教材を吟味し、板書(黒板にどんなことを書いていくか)や発問を考え、計画の全体を検討する…そうして他の先生方に公開する授業に向かうのです。先生方も日々学び続けています。



授業研究会の様子